

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和7年9月30日)

事業コード	R07-農-継-10	区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地すべり防止事業	部局課室名	農林水産部 森林環境保全課
事業種別	地すべり防止工	チーム名	治山・林道チーム (tel)018-860-1943
路線名等	砥沢	担当課長名	森林環境保全課長 小野 圭
箇所名	由利本荘市鳥海町上笹子字砥沢	担当者名	主任 油座 壘
プランとの 関連	戦 略	防災・減災交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	県民の生命と財産を守る安全な地域づくり	

1. 事業の概要

事業期間	H9 ~ R15 (36年)	総事業費	60.9億円	国庫補助率	50%																																																					
事業規模	・ 隧道工1,845m、集水井工8基、ボーリング暗渠工29,100m、溪間工4基、自動監視システム一式 等																																																									
事業の立案 に至る背景	<p>・ 平成8年4月の融雪期に、地すべり末端付近の町道に亀裂・段差、斜面の押し出しによる擁壁や道路側溝の破損など、地すべりによる被害が発生した。下流域の保全対象への被害を防止するため、平成9年度より地すべり防止工事に着手した。</p> <p>・ 機構調査により、既ブロックを包括する斜面長約1.0km、幅約1.0km、深さ約160mの大規模な地すべりであることが判明したことから、全体計画を見直して地すべり防止工事を実施している。</p>																																																									
事業目的	<p>【主たる目的】</p> <p>・ 地すべりの誘因となる地下水を隧道工、集水井からのボーリング暗渠工等により排除し、斜面の安定を図る。</p> <p>【主な保全対象】</p> <p>・ 人家440戸、市道11,000m、一級河川丁川、水田300ha</p>																																																									
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増減</th> <th>理由等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>4,570,000</td> <td>6,088,500</td> <td>1,518,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">経費内訳</td> <td>工事費</td> <td>3,350,000</td> <td>4,530,000</td> <td>1,180,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>0</td> <td>5,500</td> <td>5,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,220,000</td> <td>1,553,000</td> <td>333,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">財源内訳</td> <td>国庫補助</td> <td>2,285,000</td> <td>3,044,250</td> <td>759,250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県債</td> <td>2,056,500</td> <td>2,739,825</td> <td>683,325</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>228,500</td> <td>304,425</td> <td>75,925</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>隧道工1,788m 集水井工8基 ボーリング暗渠工 29,100m</td> <td>隧道工1,845m 集水井工8基 ボーリング暗渠工 29,100m</td> <td>隧道工57m増</td> <td colspan="2">2号隧道工詳細調査設計に伴う延長の増及び1号隧道工施工結果を反映した隧道断面の変更</td> </tr> </tbody> </table>						前回評価	今回評価	増減	理由等	事業費	4,570,000	6,088,500	1,518,500		経費内訳	工事費	3,350,000	4,530,000	1,180,000		用補費	0	5,500	5,500		その他	1,220,000	1,553,000	333,000		財源内訳	国庫補助	2,285,000	3,044,250	759,250		県債	2,056,500	2,739,825	683,325		その他	0	0	0		一般財源	228,500	304,425	75,925		事業内容	隧道工1,788m 集水井工8基 ボーリング暗渠工 29,100m	隧道工1,845m 集水井工8基 ボーリング暗渠工 29,100m	隧道工57m増	2号隧道工詳細調査設計に伴う延長の増及び1号隧道工施工結果を反映した隧道断面の変更	
	前回評価	今回評価	増減	理由等																																																						
事業費	4,570,000	6,088,500	1,518,500																																																							
経費内訳	工事費	3,350,000	4,530,000	1,180,000																																																						
	用補費	0	5,500	5,500																																																						
	その他	1,220,000	1,553,000	333,000																																																						
財源内訳	国庫補助	2,285,000	3,044,250	759,250																																																						
	県債	2,056,500	2,739,825	683,325																																																						
	その他	0	0	0																																																						
一般財源	228,500	304,425	75,925																																																							
事業内容	隧道工1,788m 集水井工8基 ボーリング暗渠工 29,100m	隧道工1,845m 集水井工8基 ボーリング暗渠工 29,100m	隧道工57m増	2号隧道工詳細調査設計に伴う延長の増及び1号隧道工施工結果を反映した隧道断面の変更																																																						
事業の進捗 状況	<p>・ 全体計画 60.9億円 令和6年度末投資額 47.4億円 進捗率 78%</p>																																																									
事業推進上 の課題	・ 特になし																																																									
関連する計 画等	・ 「～大変革の時代～新秋田元気創造プラン」において、6つの重点戦略とあわせて推進する基本政策として「強靱な県土の実現と防災力の強化」が位置づけられている。																																																									
情勢の変化 及び長期継 続の理由	・ 特になし																																																									
事業効果把 握の手法及 び効果	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td colspan="4">森林の山地災害防止機能が適切に発揮された集落数</td> </tr> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">集落数累計</td> </tr> <tr> <td>指標の種類</td> <td>○ 成果指標</td> <td>● 業績指標</td> <td>低減指標の有無</td> <td>○ 有 ● 無</td> </tr> <tr> <td>目標値 a</td> <td colspan="2">1,091集落</td> <td>データ等の出典</td> <td>森林環境保全課調べ</td> </tr> <tr> <td>実績値 b</td> <td colspan="2">982集落</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率 b/a</td> <td colspan="2">90.0%</td> <td>把握の時期</td> <td>令和7年3月</td> </tr> </table>					指標名	森林の山地災害防止機能が適切に発揮された集落数				指標式	集落数累計				指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	目標値 a	1,091集落		データ等の出典	森林環境保全課調べ	実績値 b	982集落				達成率 b/a	90.0%		把握の時期	令和7年3月																							
指標名	森林の山地災害防止機能が適切に発揮された集落数																																																									
指標式	集落数累計																																																									
指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																						
目標値 a	1,091集落		データ等の出典	森林環境保全課調べ																																																						
実績値 b	982集落																																																									
達成率 b/a	90.0%		把握の時期	令和7年3月																																																						

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	・地すべり活動がさらに活発化した場合、一級河川丁川のほか、人家や市道等の保全対象に甚大な被害を及ぼす恐れがあり、事業実施について市や地域住民からの強い意向があることから、当事業の必要性は高い。	10点
緊 急 性	・対策工の実施により、最大で年間30cm以上あった地表移動量が、約5cm程度と減少しているが、現在も地すべり滑動は活発であり、早急な地すべり対策により安定化を図る必要がある。	30点
有 効 性	・2号隧道工施工に時間を要していたが令和7年度で完成し、今後、地下水排除のための集水ボーリング工に着手する予定であり、地下水排除の効果により安全率は上昇する見込みである。	1点
効 率 性	・事業の費用便益比は5.34であり、当事業の効率性は高い。 ・地下水排除工において、集水井やボーリング延長が最短となるよう設計し、コスト削減を図っている。	20点
熟 度	・地元住民及び由利本荘市からは事業実施について強い要望があり、合意形成は図られている。 ・令和6年度末の進捗率は78%であり概ね計画通りに進捗している。令和7年度末には81%になり順調な進捗が見込まれる。 ・掘削盛土法面について早期緑化が図られており、環境保全について十分に配慮されている。	30点
判 定	ランク (●Ⅰ ○Ⅱ ○Ⅲ) 各観点において評価点が高く、県民の生命・財産を保全する上で必要な事業であり、早期完成に向けて引き続き事業の継続が必要である。	91点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業の継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

二カ年国債等の予算を活用し発注ロットを大きくすることで諸経費削減や工期短縮を図るなどコスト削減に努めながら、事業を継続する。
--

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 地すべり防止事業

事業コード (R07-農-継-10)
箇所名 (由利本荘市鳥海町上笹子字砥沢)

1. 評価内訳

観 点	評価項目	細 別	評価基準	配点	評価点	摘 要
必要性	事業の必要性	県民のニーズ	当該施策の優先課題としての支持率が非常に高い	10	10	
			当該施策の優先課題としての支持率が高い	5		
			当該施策の優先課題としての支持率があまり高くない	1		
	計		10	10		
緊急性	災害発生の危険度	人命への影響	災害の発生により人命に危険がある	10	10	
			災害の発生により人命への影響はほとんど無い	1		
	地すべり兆候		全体的に変状が認められる	10	10	
			部分的に変状が認められる	5		
			具体的変状は認められない	1		
	林地・公共施設への影響	林地・公共施設への影響	林地・公共施設への影響が大	10	10	人家440戸 市道11,000m 一級河川丁川 等
			林地・公共施設への影響が懸念	5		
			林地・公共施設への影響が小	1		
計		30	30			
有効性	当初計画からの具体的効果	目標安全率の達成率	目標の100%以上	10	1	Fs=0.989
			90%以上100%未満	5		
			90%未満	1		
			計	10		
効率性	事業の投資効果	費用便益比 (B/C)	1.00以上	10	10	B/C=5.34
			1.00未満	0		
	コストの縮減の検討	コスト縮減計画	実施している	10	10	集水井やボーリング延長が 最短となるよう設計
			検討している	5		
			検討していない	0		
計		20	20			
熟度	事業実施体制	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	
			意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
			要件の同意を得ていない、または、調整中	1		
	これまでの進捗状況	前年度までの進捗	計画どおり進捗している	10	10	R6年度末：78%
			概ね計画どおり進捗している	5		
			計画より遅れている	1		
	今後の進捗見込み	課題等の有無	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5	R7年度末：81%
			将来的な課題はあるが、当面進捗に影響は無い	3		
			課題は解決の見込みが無く、事業の停滞が予想される	1		
	他官庁との協議調整	基本合意の有無	協議・調整済みで事業推進に影響は無い	5	5	
			協議・調整中であるが事業推進に影響は無い	3		
			協議・調整中で事業推進に影響する	0		
環境との調和への配慮状況	環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5		
		配慮について検討している	3			
		特に配慮はない	0			
計		30	30			
合 計				100	91	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		